

# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成17年11月28日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に  
乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌29日に亡くなりました。



わたしは命の大切さを学習して、ふたんから、登校や下校、外に出る  
時にまわりをよく見て、ちが意、たいと思、いました。わたしは家と  
学校がとても近、いです。学校から家が、く見えるほどです。  
けど、信号がなく車か、通る道も横た、んしないといけません。わたし  
はふた、ん、その道を、ちょっと周、りを見て、手を、挙げないで、いて  
しまうことか、たま、にあります。でも、やっぱり車は、少なくとも周、りをよく  
見て、しっかり手を、挙げて、横た、んすることが、大事、ということか、今  
回の命の大切、さを学習して、よく分、かりました。

わたしは今、あたり前、のように生、きているけど、それが、あたり前、ではなく、  
雄宇也、くんのように、小さいと、きに、な、な、て、しま、った、人も、いる。だから、  
今、健康、に生、きて、い、ける、のは、家、族、や、周、りの、み、んな、な、でも、ある、ので、し、かり  
感、し、た、い、です。

命の大切、さ、について、や、う、復、出して、教、えて、く、れ、て、あ、り、か、た、う、こ、じ、え、い、ま、し、た、。

学校名

六郷

小学校

名前 (名前を出さない方は、書かないでください。)

みかみ ようば

見上 四葉





# 命の大切さ学習教室に参加して



熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に  
乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



先日は、命のことについて、たくさん教えていただきありがとうございます。わたしが命の勉強で思、たことは、3つあります。

1つ目は、命は1つしかないことです。一度失、ってしまえば、もうありません。どこにも売、てありま  
せん。なのでこれからは、人の命を大切にしていこうと思、いました。

2つ目は、家族のことです。わたしの家族は死、んでおりません。だけれど熊谷くんのお  
母さんは、熊谷くんを失、っています。とてもつら、いと思、います。悲、しいと思、います。わ  
たした、たら大事な家族が死、んだらとてもつら、いと悲、しいからです。これから  
は、家族や友達と過、ごす時間、を1秒、1秒大切にしたいです。

3つ目は、将来自分が車、を運転する時に、スピードい、は人をしないことです。熊谷く  
んも乗用車にはねられて死、んでしまいました。たった1人が死、んでしま、たら何十人、何百人、  
ニュースや新聞で見た、全国の人、も悲、しむからです。

熊谷雄宇也くんのお母さんは、熊谷雄宇也くんの分まで生きてくだ、さい。生きぬ、いて  
くだ、さい。応援、しています！

学校名

六郷

小学校

名前 (名前を出さない方は、書かないください。)

辻嶋 璃子



# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に  
乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私はこの命の大切さ学習教室に参加して、自分の大切な人がとっせん  
なくなってしまうと心が暗くなってしまふような気持ちになることを知りました。私は  
たまた悪口を言ってしまうことがあるけどそんな気持ちでいなかたけど、今回お話を聞  
いて悪口だけでも相手の人の心をさすってしまうかもと思いました。雄宇也くんは  
小学1年生で亡くなってしまったので、お母さんはずっともかなしく、心に穴が開いた気  
持ちなのかなと思いました。私も大切な人がとっせんなくなってしまうと、何も考え  
られないふうになってしまうと思ったので、雄宇也くんのお母さんほそのような感じなのかな  
と思いました。今家族はいつも通っています。しかし日々なくなるといふことにな  
ったことかなので雄宇也くんのお母さんの気持ちほかんせんにわかんないけどお  
話を聞いて少しは気持ちが伝わってきました。親や大切な人は私がいなくなるとかな  
しむと思うので、自分の命を大切にしたいです。今回のお話で命の大切さをいつもよ  
り強く大切にしたいなと思うことができました。お話を聞くことで、気持ちや大切さ  
がよわかれます。なので私はこのような活動が苦しいと思いますが、続けていって、いろんな人  
に命の大切さを知ってもらいたいです。とてもよい経験でした。

学校名

美郷町立六郷小学校

名前 (名前を出さない方は、書かないでください。)

稲葉 まどか



# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に  
乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は、今日雄宇也くんのお母さんの話を聞いて、家族を失なうつらさなどを知  
りました。私は、ただ事故のことなどあまり家族と話しません。なぜなら私の家の  
まわりは、車があまり通りなからです。でも今日話を聞いてこれから事故のことを  
もっと知り、生活でも意識しようと思いました。体育館前ろうがで雄宇也くんの話を  
読みました。私は、「うろ」と思いました。17メートルも飛ばせるなんて雄宇也くんはとて  
つらかったと思います。でも、雄宇也くんと同じくらいつらかったのは、お母さんもつらだ  
と思います。私は、また親ではないのでお母さんと同じ気持ちにはなれません。でも、弟  
さんを事故にあわせたくない気持ちは同じです。私にも弟がいるのでなにかあっても守り  
たいです。雄宇也くんのお母さんを打つことは、難しいかもしれないけどお母さんと同じ気  
持ちで過ごしています。なので、これから事故など安全に過ごしたいと思います。親  
にも事故のことや雄宇也くんの話を伝えたいと思います。毎日の生活で事故にあわ  
ないよう意識したいです。今日は、ありがとうございました。

学校名

六郷

小学校

名前 (名前を出さない方は、書かないでください。)

鷹背 ゆき乃





# 命の大切さ学習教室に参加して



熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に  
乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



わたしはこの命の大切さ学習教室に参加して思ったことは、命は何にもかえられ  
ないって一つの大切な宝物なんじゃないかってこと。今日のお話を聞いて、朝元気に送り出した  
自分の家族が失われるのはとても辛いんだってなりました。ニューステレビで見る事故のことや  
もどにか他人事だったのが今日のお話を聞き、自分にもおこるかもしれないってなと改めて気付か  
されました。わたしは気軽に乗っている自転車も、たれかの幸せの凶器にたれかねてしまった  
と思いました。亡くなった雄宇也くんはもちろん、残されたお母さんも悲しく、辛い、苦しからって  
思いました。今、自分が幸せに健康に生きることがどれくらい幸せなことかわかよく分かり  
ました。このようにことがまたくり返されたいよう、わたしができるかぎり多くの人たちに命の大切さ、  
事故や大切な人がいなくなるのを怖れ苦しむのを伝えていきたいと思います。また、事故を  
起こし、たれかの人生をうばうことに対してゆるむことはないってこと、と思うので、加害者には、深く反省  
してほしいと思います。この教室で命の大切さについてくわしく知れました。雄宇也くんの  
お母さんこれからもこの教室をつかり、少しでも多くの人に命の大切さを伝えていってほしいなって  
思っています。がんばってください!!

学校名

名前 (名前を出さない方は、書かないください。)

六郷

小学校

